

平成26年度 部長マニフェスト

会計管理者 山田英夫

部の概要			
所属課と人員 (H26.4.1現在)	会計課	9人	

部の運営方針
 市民から信頼される市役所であるため、厳正な収支命令審査と適格な出納管理により市財政の健全な運用を保持し、事業実施のための安定的な財源の確保と、自立した財政運営を支えます。また、市の支出負担行為は、公共の福祉という目的達成のための行為であることを念頭に置き、法令を順守し、かつ出納処理を速やかに行い各部局の効果的・効率的な事業の遂行を支えます。
 公会計制度においては、個々の会計情報の積み重ねが基礎となるため制度設計の段階から財政担当と協働し、取り組んでいきます。

平成26年度の重点項目

	項目	具体的内容	達成状況(年度末振り返り)	達成度
1	適正な出納業務の実施	公金及び財産の出納を適正かつ速やかに行い、明確な記録を調製し市財政の健全な運用を確保します。	現時点において送金ミス、遅滞等なく、適正かつ迅速に事務執行を行うことができた。	A
2	適正な審査業務の実施	支出負担行為に基づいた支出の内容を適正かつ迅速に審査し、期限内に確実に債権者に支払います。	源泉徴収事務に問題が発生し、適正化を図るため全庁的な説明会を行うなどの対処を行った。審査能力の向上と執行職員の意識改善の必要性が確認された。	C
3	基金の安全かつ効果的な運用	政策経営部と連携し、市財政に有利で効果的な基金の運用管理を行います。	例年がない大口の支払いが多く歳計現金のやりくりが困難な平成26年度であったが、基金の運用で乗り切った。短期国債の超低金利もあり資産としての活用はままならなかったが、一時借り入れの回避等、効果的な運用管理がなされた。	B
4	庁内備品の適切な管理	公会計制度導入における資産管理を見据え、財務会計の備品システムを活用し、備品の整理を行う。	30万円以上の備品についての整理が完了しているため、物品取扱主任全員に対し今後の取り扱いについて周知を行った。	B